

島浪かへる

(大正三年桜星会歌)

木原均君 作歌
岩崎直砥君 作曲

一

島浪^{しまなみ}かへる北^{ほくめい}溟^{めい}さして
石狩^{いしかり}の水^{みづ}末^{すゑ}遠^{とほ}く
霞^{かすみ}のあな^なた流^{なが}る、郷^く土^にに
あけ^あくれなれし我^{わが}友^{とも}の
學^{まな}びに集^{つど}ふ楡^ゆ影^{えい}の庭^{には}に
絢^{けん}爛^{らん}の春^{はる}またおとづれぬ

二

春^{しゅん}陽^{やう}のもと下^{した}崩^もえそめて
遙^{はる}かなるかな我^{われ}思^{おも}ひ
無^む相^{そう}の智^ち慧^ゑを追^おひ求^{もと}めつ、
無^む明^{めい}の闇^{やみ}をわ^いけ入^いりて
生^{いの}命^{のち}の流^{なが}れ深^{ふか}くも進^{すす}む
雄^を々^をしき學^{がく}徒^とこ、北^{きた}にあり